

## 令和5年度学校評価に係るアンケート結果の経年比較【保護者(職員)】

※「わからない」と回答したものを含まないため、合計は100%にはなりません。

No	項目	評価の観点	肯定		否定		肯定的 評価の 昨 年 比
			R4	R5	R4	R5	
1	学 校	豊里小は、保護者の期待に沿うような教育、運営をしている。	89 (100)	92 (100)	10 (0)	2 (0)	+3 (±0)
2		豊里小は、教育方針についてわかりやすく説明している。(各種たより、ホームページ、保護者会等)	95 (100)	96 (100)	5 (0)	1 (0)	+1 (±0)
3		豊里小は、児童の学力の向上に努めている。(時間割の工夫、授業内容等)	94 (100)	99 (100)	7 (0)	0 (0)	+5 (±0)
4		豊里小は、児童の人間性の向上に努めている。(道徳の授業、校外学習、生活指導等)	91 (100)	97 (100)	9 (0)	2 (0)	+6 (±0)
5		豊里小は、児童の健康・体力向上に努めている。(体育や家庭科の授業等)	95 (100)	92 (100)	5 (0)	3 (0)	-3 (±0)
6		豊里小は、規範意識や基本的な生活態度の向上に努めている。(あいさつ週間、清掃等)	89 (100)	97 (100)	8 (0)	1 (0)	+8 (±0)
7		豊里小は、いじめや不登校の早期発見、解消に努めている。(心のアンケート、相談箱、教育相談週間等)	84 (100)	91 (100)	11 (0)	1 (0)	+7 (±0)
8		豊里小は、施設環境整備に努めている。(その都度の修繕、掲示の工夫等)	77 (100)	91 (100)	8 (0)	4 (0)	+14 (±0)
9		豊里小は、安全確保や事故防止に努めている。(交通安全教室、毎月の安全点検、防災訓練等)	87 (100)	92 (100)	5 (0)	2 (0)	+5 (±0)
10		豊里小は、部活動に熱心に取り組んでいる。(1学期は無し)	80 (100)	/	10 (0)	/	/
		学校の取組の平均 (小数第2位四捨五入)	88.8 (100)	94.2 (100)	7.8 (0)	1.9 (0)	+5.4 (±0)

No	項目	評価の観点	評価		否定		肯定的 評価の 昨 年 比
			R4	R5	R4	R5	
11	教 員	豊里小の教員は、児童の理解に努めている。	86 (100)	98 (100)	11 (0)	1 (0)	+12 (±0)
12		豊里小の教員は、わかりやすい授業の実践に努めている。	90 (100)	95 (100)	5 (0)	2 (0)	+5 (±0)
13		豊里小の教員は、挨拶や言葉づかい、時間を守る等の指導を適切に行っている。	83 (100)	96 (100)	11 (7)	3 (0)	+13 (+7)
		職員の取組の平均 (小数第2位四捨五入)	86.2 (100)	96.0 (100)	9 (2.3)	2.2 (0)	+9.8 (+2.3)

No	項目	評価の観点	評価		否定		肯定的 評価の 昨 年 比
			R4	R5	R4	R5	
14	児 童	豊里小の子は、きちんとした挨拶が身に付いている。	79 (93)	92 (87)	14 (7)	5 (13)	+13 (-6)
15		豊里小の子は、きまりを守ろうとする態度が身に付いている。	84 (100)	93 (93)	12 (0)	3 (7)	+9 (-7)
16		豊里小の子は、意欲的に学習に取り組む態度が身に付いている。	79 (93)	89 (100)	18 (7)	8 (0)	+10 (+7)
17		豊里小の子は、他を思いやる態度が身に付いている。	80 (100)	89 (87)	17 (0)	7 (13)	+9 (-13)
18		豊里小の子は、体力がついてきている。	76 (64)	78 (71)	21 (7)	13 (21)	+2 (+7)
		児童の実態の平均 (少数第2位四捨五入)	79.4 (90.0)	88.5 (87.6)	16.3 (10.0)	7.2 (10.8)	+9.1 (-2.4)
19	家 庭  ※ 保 護 者 の み	家庭で、善悪の判断を身につけさせている。	83 (-)	98 (-)	16 (-)	0 (-)	+15
20		家族の一員として、家庭の中で、役割と責任をもたせている。	67 (-)	89 (-)	27 (-)	9 (-)	+22
21		家庭の中で、学習(宿題・自学)に対して子どもと関わりをもっている。	74 (-)	93 (-)	27 (-)	7 (-)	+19
22		子どもは、家庭学習を意欲的に行っている。	62 (-)	70 (-)	39 (-)	30 (-)	+8
		家庭での様子の平均 (小数第2位四捨五入)	71.5	87.5	27.2	11.4	+16
23	連 携	学校と保護者が連携しながら児童への指導が行われている。	81 (100)	86 (100)	15 (0)	8 (0)	+5 (±0)

今後、学校が特に 努力すべきだと 思う項目 (一人3つまで選択)	保護者		教職員	
	項目	割合	項目	割合
1 人間関係づくり	65%	1 学習指導	86%	
2 学習指導	65%	2 生活指導	86%	
3 生活指導	48%	3 人間関係づくり	50%	
4 部活動指導	27%	4 学校と家庭の連携	29%	
5 安全指導	15%	いじめや不登校の解消	29%	

全体的に昨年度より上回る結果となりましたが、「今後、学校が特に努力すべきだと思う項目」では、保護者と教職員の回答に違いが見られました。学習や生活が成り立つ基盤は「人間関係」です。学習指導や生活指導に力を入れつつ、今後も子供たちの人間関係の小さな変化に気をつけていきたいと思えます。また、今回のアンケートの回収率は約67%と低かったため、次回のアンケート(2学期末)では、「マチコミでの回答」と「QRコードからの読み取りでの回答」のどちらかを選んで回答していただけるよう準備をしていきます。裏面には保護者の皆様からの声をのせています。いただいた意見を真摯に受け止め、保護者の皆様とよりよい連携を図り、児童の健やかな成長のために学校運営の改善に努力していきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。